

**講義名 : ソーシャル・アントレプレナーシップ**

講義目的 : 社会的課題をビジネスの手法で自立的・持続的に解決するソーシャル・ビジネスについて、その先駆者であるムハマド・ユヌス博士（グラミン銀行創設者/ノーベル平和賞受賞者）の理念と国内外の実践例を中心に、「ユヌス・ソーシャル・ビジネス」と日本における広義のソーシャル・ビジネスとの違い、日本由来の永続的な商いの哲学との共通点を学ぶ。講義に加えてワークショップを取り入れることで、受講者は具体的な社会的課題を解決する事業アイデアの構築方法も身につける。

	コマ	ゴール	講義タイトル（仮）／講師（候補）	次回までの宿題
5/12 （金） 4限	1	ユヌス・ソーシャル・ビジネスの特徴・価値を理解する ユヌス・ソーシャル・ビジネスと日本古来のビジネスとの共通点を理解する	【講義】ユヌス・ソーシャル・ビジネスと日本 講師：岡田 昌治 教授（ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター）	「ソーシャル・ビジネス革命」を熟読してくる
5/26 （金） 4・5限	2	ユヌス・ソーシャル・ビジネスにおける原体験の重要性を理解する 実践例からYSBモデルの理解を深める	【講義】ソーシャル・ビジネスにおける原体験の重要性 講師：高山 敦 氏（株式会社ヒューマンハーバー）	自身が解決したい社会課題を考えてくる
	3		ワークショップ（1） ケーススタディ：ヒューマンハーバーモデルを考える 講師：井上 良子（ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター 学術研究員）	
6/9 （金） 4・5限	4	社会課題に対する解決アプローチを学び、YSBの理解を深める 自身が解決したい社会課題をニーズベースで解決する案を考える	【講義】グローバル課題・社会課題と解決アプローチ 講師：大杉 卓三 特任准教授（大阪大学 未来戦略機構第一部門）	解決したい社会課題に対し、VPCを踏まえて その価値提案（社会課題の解決案）の アイデアを考えてくる
	5		ワークショップ（2） 社会的ニーズから価値提案を考える ツール：Value Proposition Canvas 講師：井上 良子（ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター 学術研究員）	
6/16 （金） 4・5限	6	ユヌス・ソーシャル・ビジネスにおけるビジネスモデルを理解する 自身の価値提案（解決策）を検証しフィードバックを得る	【講義】グラミンモデルーグラミン銀行とその展開/YSBケーススタディ 講師：アシル・アハメッド准教授（システム情報科学研究院）	次回講義の予習として Business Model Canvasの資料を読んでくる
	7		ワークショップ（3） 各自の社会課題解決アイデアを検証する 講師：井上 良子（ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター 学術研究員）	
6/23 （金） 4・5限	8	ビジネスモデルの要件を理解する	【講義】ビジネスモデルをつくる 講師：小林 美穂 氏（株式会社アバーゼンス）	ビジネス・モデル・キャンバスを完成する
	9		ワークショップ（4） 自身のアイデアからビジネスモデルを構築する ツール：BMC+ピクト図解 講師：小林 美穂 氏（株式会社アバーゼンス）	
7/7 （金） 4・5限	10	仮説検証の必要性を理解する	【講義】リーンスタートアップ 講師候補：津嶋 辰郎 氏（株式会社INDEE Japan）	仮説検証を実施し、検証結果を ビジネス・モデル・キャンバスに反映する
	11		ワークショップ（5） ビジネスモデルをブラッシュアップし、仮説検証方法を検討する 講師候補：津嶋 辰郎 氏（株式会社INDEE Japan）	
7/21 （金） 4・5限	12	収益を上げることの重要性を理解する	【講義】ソーシャルビジネスにおける収支計画 講師候補：五十嵐 剛志 氏（PwCあらた監査法人）	ビジネスプラン発表の準備
	13		ワークショップ（7） 自身のビジネスの収益計画を立案する 講師候補：五十嵐 剛志 氏（PwCあらた監査法人）	
8/4 （金） 4・5限	14	ユヌス・ソーシャル・ビジネスモデルをつくる面白さと難しさを体感する ビジネスプランについて次の実践ステップにつなげるフィードバックを得る	ビジネスプラン発表とフィードバック 講師：岡田教授その他これまでの講師	—
	15			